

平面プラン図

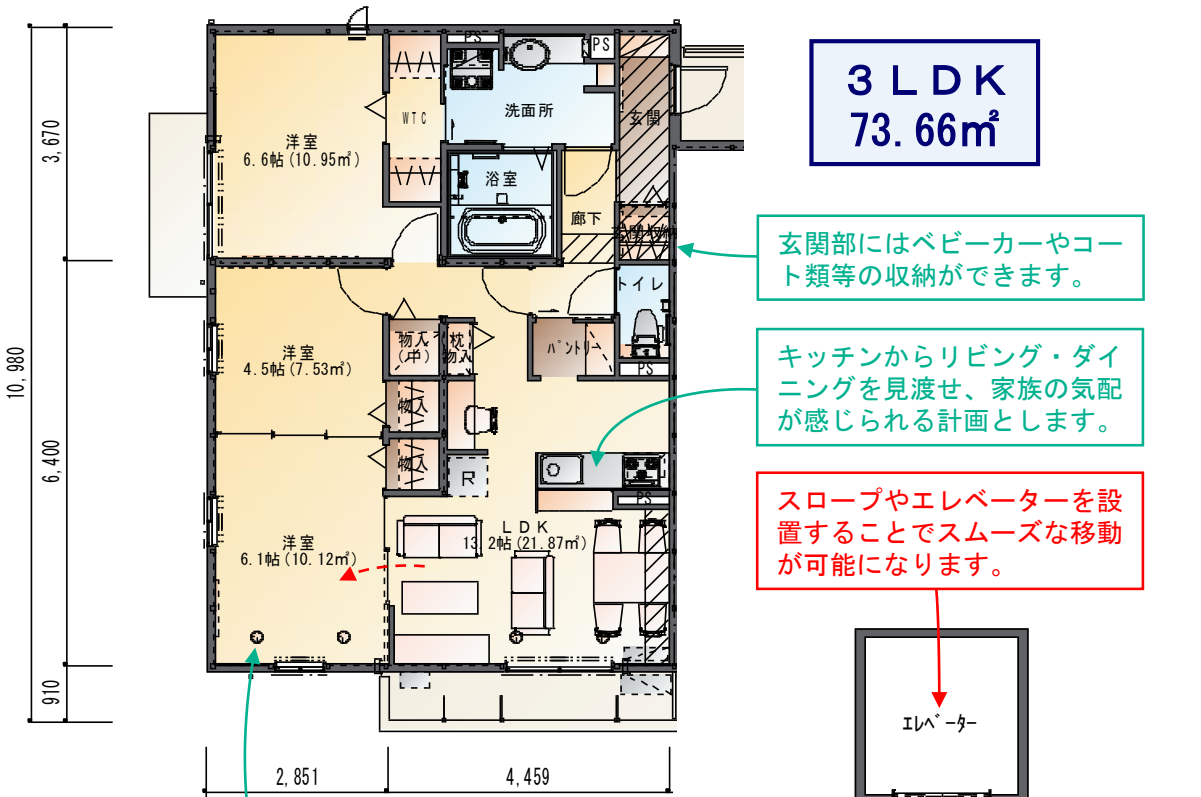
(今後、詳細設計により変更になる場合があります。)



Daiwa House Group

< 子育て世帯用住宅・代表プラン >

< 子育て支援施設 >



**3LDK
73.66m²**

玄関部にはベビーカーやコート類等の収納ができます。

キッチンからリビング・ダイニングを見渡せ、家族の気配が感じられる計画とします。

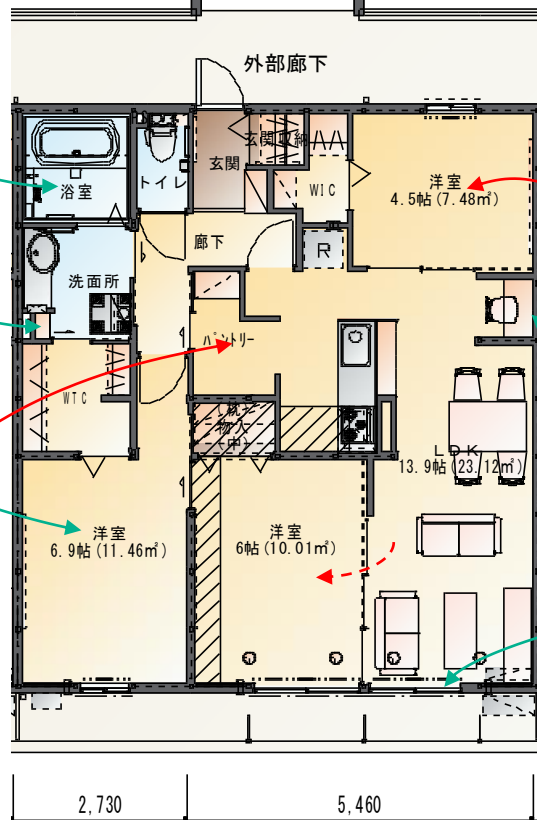
スロープやエレベーターを設置することでスムーズな移動が可能になります。

雨の日や外出時でも室内にて洗濯物を干すことができます。(浴室乾燥機・室内物干)

洗面所には子どもの下着等の収納が可能です。

洋室の1室は親子が一緒に寝られる十分な広さを確保します。

各住戸のキッチンにはパントリーを確保。ストック類をゆとりを持って収納できます。



**3LDK
75.02m²**

外で遊んだ際の泥落とし用の足洗い場を設置します。

遊び場所は50m²以上の十分な広さを確保します。

施設内の床は段差を無くし、利用する子ども達の安全性に配慮します。

開口部を大きく設けることで十分な明るさを確保します。

子ども部屋にはリビングアクセスの動線計画とします。

← --- 子供動線イメージ

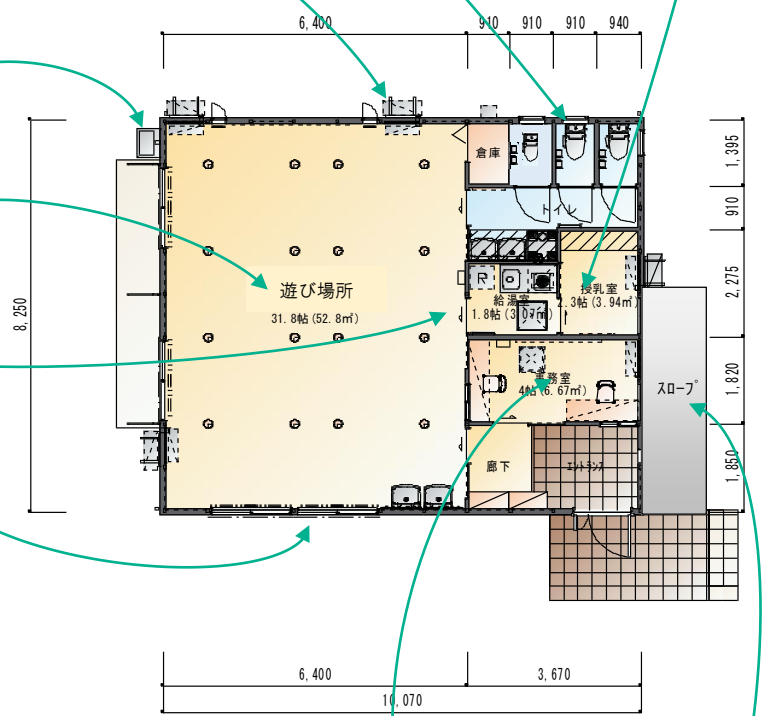
キッチンの近くで子どもが勉強やお手伝いができるスペースを確保します。

リビングの開口を広くとり、十分な明るさと風通しの良い計画とします。

小児用便器を設置します。扉も大人が見守りのできるタイプとし、子どもの排泄行動の自立を促します。

子どもの安全に配慮し、エアコンの室外機は壁面上部に設置します。

授乳室は給湯室に隣接して配置し、利用しやすくかつ落ちついた空間となるように計画します。



事務室はエントランス及び保育室に面することで、利用者の管理及び安全性の確保に配慮します。

エントランスへのアクセスはスロープを配置し、安全性に配慮します。

